

さかい利晶の杜 企画展「堺に伝わる書画の逸品！」を開催します

堺市では、さかい利晶の杜企画展「堺に伝わる書画の逸品！－茶人・天下人・書画人のふであと－」を開催します。本企画展では、戦国時代から江戸時代の堺の生んだ茶人・天下人・書画人らにゆかりの逸品を取り上げます。

堺出身の茶人千利休の書状や、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康等の天下人の書状、経済・文化的に豊かな堺を背景とした書画等を通して、堺に生きた人々と、堺の町が歩んできた歴史を紹介します。

また、関連イベントとして、学芸講座、展示品解説を開催します。

1 概要

展覧会名	企画展「堺に伝わる書画の逸品！－茶人・天下人・書画人のふであと－」
日 時	令和8年4月25日（土）～5月31日（日） 開館時間：午前9時～午後6時（入館は午後5時30分まで） 休 館 日：5月19日（火）
場 所	さかい利晶の杜 企画展示室（堺市堺区宿院町西 2-1-1）
観 覧 料	大人 300 円（240 円）、高校生 200 円（160 円） ※常設展示室（与謝野晶子記念館、千利休茶の湯館）と共通料金 ※（ ）内は 10 名以上の割引料金 ※中学生以下と堺市内在住の 65 歳以上の方は無料 ※障害のある方とその介助者は無料（要証明書）
主 催	堺市

2 展覧会の構成とみどころ（詳細は別紙をご確認ください。）

第 1 章「千利休と茶人たち」

貿易によって莫大な財を成した堺の町は、茶の湯をたしなむ裕福な商人たちを多く生み出し、そこに精神的充足を求めるようになりました。本章では、千利休（1522～1591 年）を中心に、堺の茶人と茶の湯に関わる資料を紹介します。

<主な展示品> 千利休書状（船越景直宛）安土桃山時代

第 2 章「堺をめぐる天下人たち」

堺は力のある戦国武将たちにも常に注目され、織田信長がその経済力に目をつけて莫大な矢銭を課したことも知られています。本章では、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康等の天下人や、戦国時代の武士の書状等、戦国武将に関係する逸品を紹介します。

<主な展示品> 豊臣家五奉行連署状（九鬼嘉隆・守隆宛）安土桃山時代

第3章「堺に生きた書画人たち」

中世・近世と経済・文化的に豊かであった堺の町には、書や画をたしなむ教養人たちも集まってきました。本章では、土佐光起・趙陶斎・富岡鉄斎等の作品を中心に、多くの人を魅了し続けた逸品を紹介します。

<主な展示品> 趙陶斎 行書廬同茶歌 江戸時代中期

3 関連イベント

①学芸講座 「ふであとに歴史をよむ一茶人・天下人の手紙から」

日 時	令和8年5月23日(土) 午後2時～午後3時30分
会 場	さかい利晶の杜 講座室
定 員	40名(要申込)
参加費	無料
申込方法等	申込開始日時：令和8年5月1日(金)午前9時 予約サイト (https://reserva.be/sakairishonomori) または、さかい利晶の杜(072-260-4386)へ電話でお申し込みください。
講 師	さかい利晶の杜学芸員

②学芸員による展示解説

日 時	令和8年5月10日(日)、5月16日(土) ※各日午後1時30分から(20分程度)
会 場	さかい利晶の杜 企画展示室
参加費	無料(展示観覧券が必要)
申 込	不要 ※開始時間までに企画展示室前に集合

4 その他

各イベントの詳細は、以下のさかい利晶の杜ホームページをご確認ください。

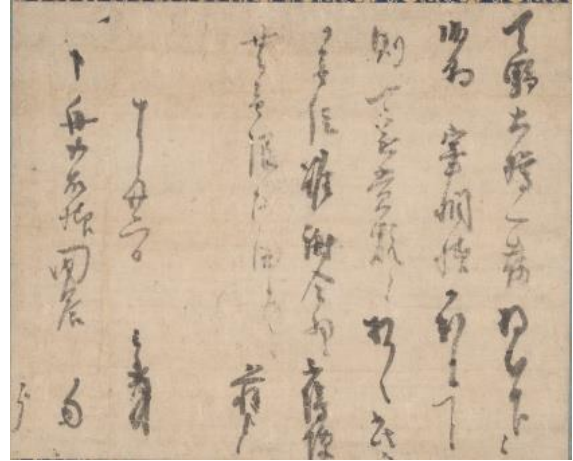
<https://www.sakai-rishonomori.com/>

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課(さかい利晶の杜) 電 話：072-260-4862 ファックス：072-238-0150
----------------------------	---

・千利休書状（船越景直宛）安土桃山時代

本状は、千利休（1522～1591年）から舟越景直（1540～1611年）に送られた手紙です。景直は三好長慶（1523～1564年）の弟・安宅冬康（1528～1564年）に仕えたのち豊臣秀吉の臣となった人物で、五郎右衛門と称しました。

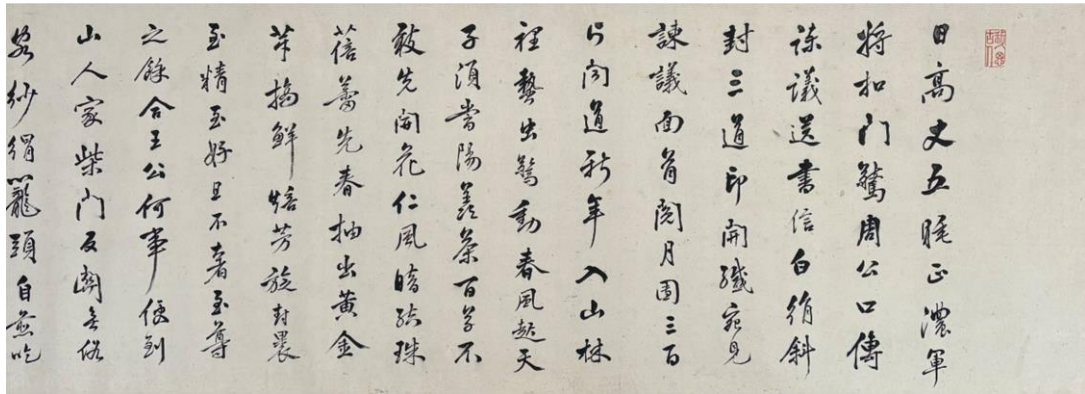
手紙の本文には、河内産の銘酒として名高い「天野酒」を贈ってもらったお礼と、それを翌朝「宰相様（秀吉の弟・秀長のことか）」が来られた時に賞味するつもりであることが記されています。素朴な書きぶりが魅力的な逸品です。



・豊臣家五奉行連署状（九鬼嘉隆・守隆宛）安土桃山時代

本状は、豊臣秀吉（1536～1598年）の家臣で、政権運営の一翼を担った五奉行（長束正家（生年不詳～1600年）／石田三成（1560～1600年）／増田長盛（1545～1615年）／浅野長政（1547～1611年）／前田玄以（1539～1602年））から、志摩（現在の三重県南部）の武将・九鬼嘉隆（1542～1600年）／守隆（1573～1631年）父子に送られた手紙です。

本文には、五奉行から九鬼氏に対して、許可なく出家することは禁じられていると述べています。嘉隆は、家督を守隆に譲る際、自らは出家しようと考えていたようです。勝手にそのような行動を起こさないようにと、豊臣政権からの忠告が記されています。



・趙陶齋 行書廬同茶歌 江戸時代中期

江戸時代中期の書家である趙陶齋（1713～1786 年）の書です。中国唐代末期の詩人・盧仝（^{ろどう}生年不詳～835 年）が詠んだ詩「走筆謝孟諫議寄新茶（筆を走らせ孟諫議の新茶を寄せるを謝す）」が書かれています。趙陶齋は長崎で生まれ、日本各地をわたり歩いた後、堺に居住しました。

本作は、堺に居住し始めた時期に書かれたもので、筆の打ち込み方や字形の取り方に、様々な中国の書を学んだ形跡が見えます。

堺の逸品、一堂に!

さかい利晶の杜企画展

堺に伝わる 書画の逸品!

茶人・天下人・書画人のふであと



令和8年

4月25日(土)～5月31日(日)

開館時間 9時～18時(最終入館17時30分)

休館日 第3火曜日(5月19日)

会場 さいかい利晶の杜企画展示室 主催 堺市

観覧料 大人300円、高校生200円、中学生以下無料

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券でご覧いただけます。

※障害のある方と介助者、堺市内在住65歳以上の方は無料

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

左上：喜多武清《千利休画像》嘉永3年(1850) 右下：《豊臣秀吉画像》江戸時代

堺に伝わる 書画の逸品！

茶人・天下人・書画人のふであと



《豊臣家五奉行連署状》慶長2年(1597)頃

かつて国際貿易都市として栄えた堺のまちには、裕福な商人たちが集まりました。経済的余裕がある商人たちは、精神的充足をもとめ、「茶人」として茶の湯にも取り組みます。このような状況を背景として、わび茶の大成者として著名な千利休(一五二二〜一五九二)も、堺で生まれることとなりました。

莫大な財を成した堺のまちは、力のある戦国武将たちに常に注目され続けます。織田信長(一五三四〜一五八二)・豊臣秀吉(一五三六〜一五九八)・徳川家康(一五四二〜一六一六)といった日本の歴史を駆け巡った「天下人」たちも、堺のまちを掌握しようとしています。

また、多くの人が集まる堺の街には、書や画をたしなむ教養人たちも集まってきました。彼ら「書画人」の作品は多くの人を魅了し続け、時を超えて、現代に生きる我々の心を掴みます。

本展では、現在まで堺に伝わる茶人・天下人・書画人たちによる書画の逸品を紹介します。彼らの「ふであと」を通して、堺に生きた人々と、堺のまちが歩んできた歴史に想いをはせていただければ幸いです。



林間苑《孔子十哲図》江戸時代中期

〔関連イベント〕

学芸講座「ふであとに堺の歴史をよむー茶人・天下人の手紙からー」

担当：渋谷一成(堺市博物館学芸員) 日時：5月23日(土) 14:00～15:30
場所：さかい利晶の杜 講座室 参加費：無料(当日の展示観覧券が必要です)
定員：先着40名(要申込)

学芸員による展示解説(2回)

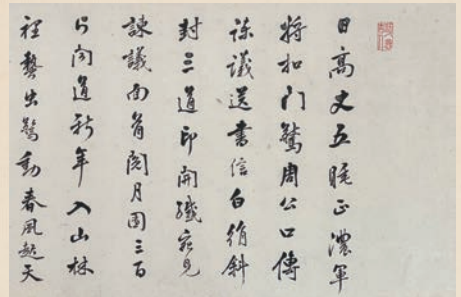
日時：5月10日(日)／5月16日(土) 各日13:30～(20分程度)
場所：さかい利晶の杜 企画展示室 参加費：無料(申込不要、当日の展示観覧券が必要です)

○学芸講座は、お電話または予約サイト(HP)にてお申込みください。電話：072-260-4386



「阪堺線宿院駅」より徒歩1分
「南海高野線堺東駅」よりバスで約6分
「南海線堺駅」より徒歩で約10分／バスで約3～5分
バス停「宿院」下車徒歩1分

〒590-0958
堺市堺区宿院町西2丁1-1
TEL：072-260-4386
FAX：072-260-4725
<https://www.sakai-rishonomori.com>



趙陶斎《行書廬同茶歌(部分)》江戸時代中期



《徳川家康画像》江戸時代

SAKAI RISHI NO MORI さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

千利休茶の湯館 | 茶の湯体験施設 | 与野野子子記念館 | 観光案内展示室